

## 台日精密装置・部品商談会 ご報告

去る6月6日(日)～8日(火)に台湾にて「2010台日精密装置・部品商談会」が開催され、日本(東京、神奈川、長野、大阪、京都、福岡等)の各地域から中小企業、ベンチャー企業合計17社が参加いたしました。現地では、台日精密装置・部品商談会以外に工業技術研究院(ITRI)や各地域のサイエンスパークを視察、また台湾企業との情報交換会なども行いました。今回、NPO法人ベンチャー支援機構TSUNAMIとして共催させて頂きましたので、簡単ではございますが、当日の様子をお伝えさせていただきます。

- 日時:平成22年6月6日(日) 工業技術研究院(ITRI)、新竹サイエンスパーク視察、  
6月7日(月) 台中の中堅企業訪問、中部サイエンスパーク視察  
6月8日(火) 台日精密装置・部品商談会

■場所:台湾 台中福華飯店(Howard Prince Hotel Taichung) 華宴庁4階

■主催:台日産業技術合作促進会、中華民国精密機械発展協会、亜東関係協会科技交流委員会

■共催:新日華産業技術フォーラム、NPO法人ベンチャー支援機構TSUNAMI、中華民国対外貿易発展協会(TAITRA)、財団法人交流協会、台湾光電興半導体設備産業協会(TOSEA)

■開催概要:日本の中堅・ベンチャー企業と台湾中堅企業の協力関係による、中国市場開拓の可能性の探索

■商談分野:PCB、精密加工機械、半導体、オプトエレクトロニクス産業、ディスプレイ応用製品、パネル及びモジュールに関する設備・コンポーネントなど



財団法人工業技術研究院(ITRI)



慶鴻機電工業股份有限公司



ミーティング風景



中部サイエンスパーク

《新竹サイエンスパーク》 新竹サイエンスパークは、1980年12月15日に設立された台湾初のサイエンスパークで、設立以来、高品質のハイテク産業の発展基地を創り上げることをモットーとして活動してきました。20パーク内には400社程度のハイテク企業が設立されており、大部分が半導体、コンピュータ、通信、オプトエレクトロニクスなどの電子産業です。新竹サイエンスパークは、台湾のハイテク産業の中心で、国内の経済発展を引っ張ってきました。パークの開発、建設、全体的な管理は、非常に行き届いており、世界で成功したサイエンスパークの典型となっています。新竹サイエンスパークは、台湾のハイテク産業における全体的なパフォーマンスだけでなく、多くの企業の企業イメージも内外で高く評価されています。長年の努力を経て、新竹サイエンスパークは、世界において発展に成功したサイエンスパークの1つとなっており、多くの内外の賓客や報道機関が訪れ、経済学や都市発展学者の研究例にもなっています。

《中部サイエンスパーク》 行政院国家科学委員会の中中部サイエンスパークは、2002年9月23日行政院から中部サイエンスパーク設立準備計画として認定されて以来、中央と地方政府の協力のもと公共工事と企業の工場が同時に建設されるという同時施工方式を用い建設が開始されました。AUO進出以降ハイテク企業の進出が加速し、パークにはすでに進出許可企業数が計100社を超える状態となり、その投資金額が17兆新台幣に達すると予測されています。天の時、地の利、人の和等の利点及び政府のテクノロジー産業高度化政策優先推進等の要因の下で、中部サイエンスパーク産業クラスターが次第に形成され、並びに徐々に新竹サイエンスパーク、南部サイエンスパークの企業との直結により、台湾のテクノロジーアイランドのコアとなる役割として構築され、国際舞台で大きな異彩を放っています。

財団法人工業技術研究院(ITRI)  
董事長 蔡清彦氏經濟部技術處  
簡任技正 王永妙氏

商談風景



講演風景



全体写真

### 【コメント】

今回の商談会においては、日本からの参加企業に対する興味が予想以上に強い状況でした。1社あたり平均5件程度の商談が行われ、再度ミーティングに進む企業もありました。今回をスタートとして、今後継続的な開催を予定しております。

(株)TSUNAMI ネットワークパートナーズ  
(株)TSUNAMI オンザロード  
(TEL) 045-470-8088  
(FAX) 045-470-8090  
井 汲 / 飯 塚 / 吉 岡